学校整理番号（ 115 ）

動物管理科　昼間部
キャットプロコース

１年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	キャットプロコース	
科目名	犬学					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	1 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	冨澤 彩							
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフーディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬相談、ドッグアロマケア講座等を開催。					
授業概要	①犬の起源・生態・ライフサイクル。 ②畜犬団体によるグループ分け・様々な犬種の犬種特性・スタンダード・沿革。 ③犬体名称・用語・被毛・骨格の特徴。 ④家庭で犬を飼育管理する為の基本的知識と犬種特性に合わせた管理方法。					授業形式	講義	
到達目標	犬の生態・スタンダード・犬種特性を理解し、それらに合わせた飼育方法の分析が出来る。 お客様・飼い主さまへアドバイスするための知識、適切かつ安全に犬を飼育管理をする為の基本的な知識の習得。							
教科書・教材・服装等	「最新犬種図鑑」、筆記用具							

授業計画	授業内容
1	自己紹介・持ち物確認・評価方法説明・授業概要説明・犬の起源・世界及び日本の畜犬団体
2	犬の起源・オオカミとの違い・様々な犬種が生まれた経緯
3	ルーツ/用途/形態によるグループ分け（各グループの特徴・属する犬種）1～5G
4	ルーツ/用途/形態によるグループ分け（各グループの特徴・属する犬種）6~10G
5	犬体名称・骨格構成・骨格名称
6	噛み合わせ・歯列・歯の名称と役割
7	人気犬種の沿革・犬種特性・特性に合わせた接し方・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
8	人気犬種の沿革・犬種特性・特性に合わせた接し方・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
9	人気犬種の沿革・犬種特性・特性に合わせた接し方・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
10	人気犬種の沿革・犬種特性・特性に合わせた接し方・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
11	犬のライフサイクル（社会化期、思春期、シニア期）の特徴
12	ボディーランゲージ（カーミングシグナル）・ストレスを感じた時の体の変化
13	犬の五感（嗅覚、視覚、味覚、聴覚、触覚）を知り、適切な接し方を知る
14	「おもちゃ」必要理由、種類、与える際の注意点、知育玩具の重要性
15	復習　定期試験範囲の説明と対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率60％以上・定期試験80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率50％以上・定期試験70点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	ネコ学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位
		通年	3 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	山口 遥香						
	実務経験	無					
授業概要	純血種の猫における猫の特徴、歴史を学ぶ ZCCのライセンス取得へ向けて幅広い知識を学ぶ					授業形式	講義
到達目標	ZCC公認 キャットマイスターベーシックの取得、猫の知識の基礎を習得						
教科書・教材・服装等	Text Book of Cat Meister、ノート、筆記用具、配布資料						

授業計画	授業内容
1	歴史
2～5	身体について
6・7	目色・毛色とパターン
8	主な体型・品種発生パターン
9～14	品種
15	前期振り返り･試験範囲
16	前期試験解説
17～21	NPO法人猫の森北村講師による保護猫活動について
22～26	前期まとめ
22～28	健康管理
29	キャットショー・血統書とは
30～41	猫の選び方と飼い方
42	猫を扱うという事
43	動物愛護管理法
44	毛色の遺伝子
45	後期振り返り･試験範囲

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験			実技試験
	・平常点（授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100～93%・定期試験 100～90点・平常点 優れている
	B評価	出席率92～86%・定期試験 89～75点・平常点 普通
	C評価	出席率85～80%・定期試験 74～60点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	基礎看護学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	佐藤 湧矢						
	実務経験	有	動物病院で2年の実務経験あり。				
授業概要	・動物看護の知識を身につけることでコンパニオンアニマルの健康管理への意識を高める。 ・現場ですぐ対応できるよう、専門用語を学び理解を深める。 ・２年次のインターンシップにおいて、動物病院に実習に行く際の初歩知識を身につける。					授業形式	講義
到達目標	・動物病院業務の種類や必要性を学べる。 ・他ｺｰｽの勉強内容を取り入れる事で就職の選択分野が広がる。 ・看護の基礎知識、多い症例の基礎知識を身につけ就職時に役立てることが出来る。						
教科書・教材・服装等	写真でわかる 動物看護師実践マニュアル						

授業計画	授業内容
1~2	バイタル各項目と一般身体について学ぶ
3~4	病院業務・動物業界の仕事について
5~6	眼・耳・鼻 各項目の異常名とその状態等くわしく学ぶ
7~8	ブースター効果/混合ワクチン・狂犬病・フィラリアについて学ぶ。
9~10	ノミ・ダニの観察/人獣共通感染症について学び、適切な対応ができるようになる
11~13	病院でよくみる症例やサロンでおきる可能性の大きい怪我などの治療や処置について学ぶ。
14~15	投薬方法・調剤の方法を写真や実物を使って学ぶ。
16~18	病院で行う基本的な検査の手技と目的を学び実践し、理解する。
19~21	病院で行う処置の名称・目的・手技・処置時の器具やOPE器具の名前・用途を学ぶ
22~23	基本的な消毒液の種類と掃除の正しい方法、滅菌の定義と手技を学ぶ。
24~26	若齢犬、高齢犬の取り扱いから注意点を学ぶ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100～90％以上・定期試験や小テスト100～90点・平常点 優れている
	B評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	キャットプロコース	
科目名	ネコの行動学					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	1 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	山口 遥香							
	実務経験	無						
授業概要	猫の体の動きによる感情表現や、様々な行動の意味を学習する					授業形式	講義	
到達目標	猫の行動を学び、猫についての理解をより深め、知識も習得する							
教科書・教材・服装等	Text Book of Cat Meister、ノート、筆記用具、配布資料							

授業計画	授業内容
1	猫の接し方
2	猫の本能
3	猫の行動とボディランゲージ
4	猫同士のコミュニケーション方法
5	猫の発情期・交尾・妊娠・出産
6	猫の性格形成
7	前期振り返り･試験範囲
8	前期試験解説
9～11	子猫の成長プロセス・しつけ
12～14	猫の問題行動・攻撃行動・分離不安
15	後期振り返り･試験範囲

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験			実技試験
	・平常点（授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100～93％・定期試験 100～90点・平常点 優れている
	B評価	出席率92～86％・定期試験 89～75点・平常点 普通
	C評価	出席率85～80％・定期試験 74～60点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	愛玩動物飼養管理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3　単位
		通年	3　単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	村上 幸子						
	実務経験	有	ペットフードメーカーのペット相談室に勤務し、獣医師としてペットの飼育・健康相談を行う。当学園において愛玩動物飼養管理士１級・２級等を担当し現在に至る。				
授業概要	愛玩動物飼養管理士２級の資格取得を目指して学習する。					授業形式	講義
到達目標	動物の愛護に関する法律や適正飼養に関する知識を習得し、専門的指導員として活躍できるようにする。クラス全員が認定試験に合格することを目標とする。						
教科書・教材・服装等	・愛玩動物飼養管理士２級教本　第１巻・第２巻 ・課題報告問題　　・配布プリント(授業プリント、練習問題集)						

授業計画	授業内容
1	1　「愛玩動物飼養管理士」に関して理解する。
2～5	2　「生命倫理・動物福祉」に関して学習する。
6~9	3　「動物の体の仕組みと働き」に関して学習する。
10~13	4　「動物の遺伝と繁殖生理」に関して学習する。
14～18	5　「動物の行動としつけ」に関して学習する。
19~24	6　「動物愛護・適正飼養関連法規」に関して学習する。
25~26	7　「愛玩動物学」に関して学習する。
27～28	第1巻の総復習と前期期末試験対策を行う。
29~34	7　「愛玩動物学」に関して学習する。
35~37	8　「人と動物の関係学」に関して学習する。
38~40	9　「動物生活環境学」に関して学習する。
41~43	10　「ペット関連産業概論」に関して学習する。
44	「認定試験対策」を行う。
45～56	動物の飼養管理等に関して、さらに深い学習を行う。
57～58	第2巻の総復習と後期期末試験対策を行う。

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験結果			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験60点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	動物管理実習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	中島花楓						
	実務経験	無					
授業概要	PCたちが健康に過ごせるように、健康チェックや清掃をし、命を扱う責任感を持ってもらい、猫それぞれに合わせた扱い方を学ぶ。					授業形式	実習
到達目標	基本的な猫の飼育方法や簡単な健康チェック方法が身に付く。生体を扱う責任感が身に付く。様々な性格の猫を扱えるようになる。						
教科書・教材・服装等	実習着、スニーカー						

授業計画	授業内容
1 ～ 2	猫舎実習：授業内容・注意事項の説明、ケージ掃除説明・猫の抱き方説明
3 ～ 6	猫舎実習：2FPCケージ掃除、猫舎内掃除説明・猫舎内掃除
7 ～ 12	猫舎実習：PCトレー洗浄説明、1F2F3FPCケージ掃除・猫舎内掃除
13 ～ 36	猫舎実習：1F2F3FPCトレー掃除・洗浄・ボディチェック説明・猫舎内掃除・体重測定
37 ～ 42	猫舎実習：1F2F3FPCケージ洗浄説明・ケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除
43 ～ 60	猫舎実習：1F2F3FPCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除
61 ～ 66	猫舎実習：1F2F3FPCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除、投薬練習
67 ～ 72	猫舎実習：1F2F3FPCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除・猫開放
73 ～ 78	猫舎実習：1F2F3FPCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除・猫開放
79 ～ 84	猫舎実習：PCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除
85 ～ 114	猫舎実習：PCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除・体重測定
115 ～ 120	猫舎実習：PCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除、投薬練習
121 ～ 138	猫舎実習：PCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除
139 ～ 150	猫舎実習：PCケージ掃除・洗浄、ボディチェック、猫舎内掃除、体重測定、猫開放

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点(提出物・授業参加意欲など)			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率95％以上・平常点が優れている
	B評価	出席率85～94％・平常点 普通
	C評価	出席率75～84％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	グルーミング実習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	伊賀 汐梨						
	実務経験	有	トリミングサロンでの実務経験を活かし、実際の現場で必要になる知識や技術を指導することができる。JKC公認トリマーライセンス所持。				
授業概要	実習形式で行う。グルーミングに必要な基本知識・グルーミング理論を学ぶと共に、正しい道具（クリッパー・シザー）の使い方を学んでいき、2年次にスムーズにカットに入れるように学ばせていく。					授業形式	実習
到達目標	基本となるベイジングをはじめ、初歩のトリミング技術を正確に学ばせ、２年次に受験するAAVサロントリマー検定2級に向けスムーズにグルーミング実習に入れるレベルにさせる事を到達目標とする。						
教科書・教材・服装等	ドッググルーミングマニュアル・グルーミング道具・実習着						
授業計画	授業内容						
1~6	道具の確認、道具の名称、道具の使い方、道具の手入れの仕方						
7~12	投薬、点眼レクチャー、道具の使い方（シザー）						
13～18	道具の使い方（ブラッシング・爪切り・耳掃除）、実践						
19～24	スタック、ブラッシング、爪切り、耳掃除の実践						
25～30	ベイジングレクチャーデモ						
31～78	ベイジング実践						
79～90	前期復習、技術レベルの確認						
91～180	様々な犬種で反復練習						
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験	
	・平常点（授業意欲、態度など）					実技試験	
	・技術習得度				○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている・技術レベル上位1/3					
	B評価	出席率70%～89%以上・平常点 普通・技術レベル 2/3					
	C評価	出席率50%～69%以上・平常点 やや劣る・技術レベル 下位1/3					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	キャットグルーミング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	6 単位
		通年	6 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	山口 遥香						
	実務経験	無					
授業概要	グルーミングの基礎知識を得た上で様々な猫種のグルーミングを行い、猫に合わせた・さらに作業を共に行う人に合わせたグルーミングを行えるようにする。また、2年生で行うカットがスムーズに行えるように基礎的な足裏バリカンやカットを学んでいく。					授業形式	実習
到達目標	グルーミングの基礎知識を得た上で猫に合わせたグルーミングができ、かつ足先カットまでできる						
教科書・教材・服装等	グルーミング道具一式、実習着						

授業計画	授業内容
1~6	グループディスカッションと自己紹介、グルーミング道具配布と説明
7~12	授業内容や注意点、ボディチェックの解説とそれに付随する病気の詳細、グルーミングの基礎知識
13~18	グルーミングのデモンストレーション、綿棒・シザー練習
19～36	爪切りからブローまでの猫のグルーミング
37~42	グルーミングのデモンストレーション、グループディスカッション
43～48	爪切りからブローまでの猫のグルーミング
61～84	足裏バリカンのデモンストレーション、猫のグルーミング+足裏バリカン
85～90	前期到達度テスト（爪切りからブローまでの猫のグルーミングでの技術評価）
91～102	猫のグルーミング+足裏バリカン
103～120	足先カットのデモンストレーション、猫のグルーミング+足裏バリカン・足先カット
121～132	グループディスカッション、プレゼン発表
133～174	猫のグルーミング+足裏バリカン・足先カット
175~180	後期到達度テスト(猫のグルーミング+足裏バリカンまでの技術評価)

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・実技試験		○	実技試験
	・平常点（提出物・身だしなみ・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100～92%・実技試験 100~90点・平常点 優れている
	B評価	出席率91～88%・実技試験 89～80点・平常点 普通
	C評価	出席率87～80%・実技試験 79～70点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	ドッグトレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	田山かおり						
	実務経験	有	優良家庭犬普及協会のGCT資格を取得、仔犬のブリーディングや成犬を含む多数の飼育管理を経験している。				
授業概要	ペットショップやサロンで必要な、犬の基礎知識を身につける。預かり犬の散歩が出来るようにリードの持ち方や扱い方を学ぶ。					授業形式	実習
到達目標	学習理論に基づいた犬のトレーニング方法と管理方法を身につける。						
教科書・教材・服装等	服装：実習着、スニーカー（インヒール不可）						

授業計画	授業内容
1～3	実習の流れと持ち物の説明。実習に関する事の説明。施設案内。ケンネルリードの使い方。ご褒美の使い
4～6	クレートからの出し入れ。抱き上げ練習。ご飯の与え方練習。
7~9	首輪の種類説明①。首輪のフィッティング練習。犬カルテの書き方説明。座学/ストレスサインとカーミングシグナル。犬プレートの見方。誘導方法①（基本姿勢）。
10～12	座学/ボディランゲージ。ヒールポジション。誘導方法②　基本姿勢＋マテ。マテ+誉め言葉。
13～15	座学/正しくない犬へのあいさつ、ファーストコンタクト。座学/犬を扱う前に知っておくこと。スピン。
16~18	首輪の種類説明②。食器のルール。一緒に歩く。
19～21	座学/古典的条件付け・オペラント条件付け。人が近付くと犬は座る練習。
22～24	座学/犬の里親について。基本姿勢+プロンプト。呼び戻し練習。
25～27	座学/キューの付け方+実践。座学/クレートトレーニング。解放の合図。
28～30	座学/４つのD、ハンドリングの重要性。リードのルール。抱き上げ復習。
31～33	座学/知育玩具について。8の字。
34～36	座学/プレオーナークラス①。首輪フィッテング復習。アラウンド。
37～39	座学/プレオーナークラス②。物品慣らし。セトルダウン。
40~42	確認テスト。座学/罰を扱う前に知っておくこと。

成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験
	・小テスト		実技試験
	・平常点（授業参加意欲など）	○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率70％以上・定期試験や小テスト70点以上・平常点 普通
	C評価	出席率50％以上・定期試験や小テスト50点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	パソコン					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	中島 雅子						
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。				
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせて実施する。					授業形式	講義
到達目標	・Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・情報モラルを守る姿勢を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	・30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・USBメモリ						

授業計画	授業内容
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート
	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・USBメモリの取扱い方・タイピング練習
2	Windowsの基礎知識：IMEと日本語入力・タイピング練習
	Word 基本１：ファイルの基本操作を覚える・効率よい入力方法・タイピング練習
3~4	Word 基本２：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）
5	Word 文書作成：編集の手順・編集作業・ページ設定など
6	Word 表現力をアップする：画像・イラスト・図形などの挿入とレイアウト
7	Word 表の作成：罫線とは・書式設定・レイアウト・様々な表を作ってみる
8	Word 書式応用：書式設定を使いこなす・自由なレイアウトの文書作成・ページ設定
9~10	Wordで学ぶ著作権：ネット社会と正しい著作権を知る
	Word まとめ：総復習の到達度テスト実施、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える
11	Excel 基本１：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定
12	Excel 基本２：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る
13	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など
14	Excel データベース：リストとは(顧客名簿と入力規則)・大きなデータの表の扱い方
	Excel まとめ：総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・到達度テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・到達度テスト80％以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・到達度テスト70％以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・到達度テスト60％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	ビジネストレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1　単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	伊東絹子						
	実務経験	有	コミュニケーションマナー講師として３０有余年の経験を持つ。また、マナースキルの源となるホスピタリティや心の在りようにも理解を深める指導を行う。マナーが形のみに偏らないマナー講座の指導が出来る。				
授業概要	マナーの重要性に自らの気づき実践出来ることを念頭に、インタラクティブな講座とする。また、WhyとHowをバランス良く取り入れて進行していく。 ロールプレイでは場面に則した内容で、即実践出来る内容とする。					授業形式	講義
到達目標	自主的に、かつ臨機応変に対応できるマナーが実践できる。また、身につけたコミュニケーションマナーを学園や日常生活の中で自然に生かし、多くの人との出会いの中で信頼関係が築けることを目標とする。						
教科書・教材・服装等	ビジネスハンドブック・ビジネスハンドブックに基づいた講師作成のパワーポイントおよび資料						

授業計画	授業内容
1	オリエンテーション・ホスピタリティの理解
2	信頼関係構築のための五つの基本を学ぶ
3～5	五つの基本（挨拶・表情・身だしなみ・言葉遣い・態度）の内容を深め実習を含め実践力を養う
6	敬語の基本と応用を学び、会話に取り入れ実習
7～8	話し方と聴き方から報告・連絡・相談の在り方を理解し実習する
9	電話応対
10	訪問応対のマナー
11	訪問応対のロールプレイ
12	メールのマナー
13	定期試験対策
14	定期試験
15	定期試験返却と振り返り

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験			実技試験
	・平常点（授業参加意欲など）			実施しない

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科	コース名	キャットプロコース
科目名	自己理解(&就職ガイド)	必修・選択必修の別	必修

実施期						授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1　単位
	1年	前期	単位	後期	単位		
		通年	1　単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				

担当講師	青木 莉紗		
	実務経験	無	

授業概要	個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。 この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。 ③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。	授業形式	講義

到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。 具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ビーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ビーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ビーコンラーニングサービス）1,080円

授業計画	授業内容
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する
3	LIFO診断
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解
5	強みの確認①
6	強みの確認②
7	強みの確認③
8	他者からの指摘（ポジティブシャワー）
9	自分の強みを確認する④
10	就職室の紹介
11	『Ｇｏｏｇｌｅ　classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）
12	業界インターンシップについて
13	就職セミナーについて
14	企業研究の仕方
15	強みの使い過ぎの確認
16	強みの拡張
17	自己分析シートの完成
18	福利厚生・社会保険について
19	身だしなみ指導
20	企業説明会①
21	インターンシップに向けて
22	ESの作成指導
23	自己PRの基本構築と作成
24	電話のかけ方
25	インターンシップ事前準備
26	志望動機の基本構築
27	インターンシップ準備、企業説明会②
28	課題レポートの作成

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・課題提出・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	キャットプロコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	山口　遥香						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	学校生活について①
2~3	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定
4~5	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ
6~7	メラビアンの法則、言葉遣い
8~9	学校行事についてのディスカッション①
10~11	学校行事についてのディスカッション②
12～13	敬語表現や使い方
14	まとめ
15	学校生活について②
16~17	学校行事についてのディスカッション③
18~19	学校行事についてのディスカッション④
20	プレゼンテーション例
21~27	プレゼンテーションと振り返り
28	総まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合